



平成 30 年 4 月 12 日発行 NO. 2215 第 2368 例会 会長 前川 成吉 幹事 倉石 昌治 会報委員長 桜井 隆宏

例会報告(平成 30 年 3 月 22 日)

会長挨拶

点鐘

ソング 「我らの生業」

唱和 「四つのテスト」

会長挨拶 会長 前川成吉

幹事報告 幹事 倉石昌治

プログラム

本日のお客様

第 2790 地区国際奉仕委員会

副委員長 金坂一郎様

奨学金授与 (王堯玉さん)

各委員会報告

卓話 (金坂一郎様)

表彰



長寿ロータリアン 内田裕雄会員 (87 歳)

奨学金授与



皆さんこんにちは。今日は「水と衛生月間」という事で、先日、新聞の記事の一部に「地下水のありがたさ」という面がありましたのでなるほどと思い、ぜひ皆様にもと思い発表させていただきます。

地下水のありがたさ

様々な効能をうたう井戸水や湧き水は古くから各地にある。立正大学教授の河野忠さんの著書「名水学ことはじめ」(昭和堂)によると、眼病、皮膚病、胃腸病といった病気に効く水や美人水や字がうまくなる硬水など多彩です。水質を調べると科学的根拠らしきものが見いだされる場合もあるそうです。暗示で症状が改善する「ブラシーボ(偽薬)効果」もあっただろうと河野さんはみる。

昔の人が神秘の力を信じた地下水だが、戦後の高度成長期などには、くみ上げすぎで地盤沈下が起きたこともあった。今では条例を設けるなどして独自に保全する自治体も多い。熊本市は農家に助成金を出し、米から転作した畑に1~3か月間、水をはってもらうことで、地面にしみこませて地下に水を供給している。市は「水をはった畑で育てた野菜を食べることが地下水保全につながる」とアピールする。地下水は災害時にも力を発揮する。東日本大震災では約 257 万戸が断水し、最長 7 か月続いた。仙台市では、個人宅や事業所の井戸を災害時に使えるよう登録する制度を 2000 年度に設け、災害の際、井戸水を近所に配った例もあったそうだ。こうした災害時協力井戸マップを公開する自治体も増えている。蛇口をひねれば水が出る生活をしていると忘れがちだが、大地の下から直接いただくと、そのありがたさに気付かされる。文殊様の水をしみじみ味わいつ

つ、「息子たちに御利益がありますように」と祈った。(堀家路代)

■ 幹事報告

①例会のお知らせ

- ・茂原RC ・茂原東RC
- ・茂原中央RC ・大網RC
- ・多古RC ・松戸RC
- ・成田コスモポリタンRC

②会報受領クラブ

- ・八日市場RC

③ハイハイよねやま 215号が届いております。

④八匳少年少女発明クラブより平成29年度修了式が終了しましたというお礼状が届いております。

⑤横芝町地域振興協議会会長より第3回こどもジョブパークの御礼のお手紙が届いております。

⑥2018年6月国際ロータリー年次大会参加旅行のご案内が届いております。

⑦総武中央LCよりお礼状が届いております。

その他

- ・4月から例会場があづま庵に変更になります。後程、FAX等でお知らせいたします。

■ 卓話



地区国際奉仕委員会

副委員長 金坂 一郎 様

皆さんこんにちは。本日卓話をさせて頂く地区国際奉仕委員会の金坂です。とても緊張しています。不慣れでお聞き苦しい点多々あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いします。

まずは自己紹介です。職業分類は青果市場、事業内容は名前の通り青果物の卸売業です。朝も早くから大きな声を出して頑張っています。所属クラブは茂原クラ

ブ、入会は2011年1月で、早いもので入会8年目になります。今のところ100%出席を続けており、地区の向も自クラブの幹事が終わって1年後から積極的(?)に参加させていただいておりまして、今回もご縁を頂きこの場にお邪魔している次第です。

前置きはさておき、早速本題に入りたいと思います。本年度情報研修会のPRの時も話しましたが、奉仕プロジェクト委員会のテーマとして「夢を語り、夢を実現させるために一歩踏み出そう！一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き、クラブに変化をもたらします！」を掲げ、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会と三位一体で活動する形をとっております。ここでなぜ奉仕プロジェクト統括委員会か？という事を考えてみます。これは奉仕プロジェクト統括委員会が初めて集まった地区研修セミナーでの櫻木PGから頂いたお言葉の受け売りですが、このような話をされていました。

「ロータリアンであるオーストラリアの大工さんが自分の有給休暇を利用してパプアニューギニアへ行き、倒れ掛かった病院を無料で建て直しました。ヤシの木陰の病院ですから大した作業ではありませんでしたが立派に立ち直りました。」

「これは職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕のどれに当てはまりますか？ どの分類に属しているかは関係ない、世界でよいことをして社会を変えようというのがロータリーの活動である。その中でロータリー概念だけは頭に入れておきましょう」と…そういった意味あいでも、3委員会と一緒に活動させて頂いております。

そこであらためて国際奉仕という言葉を考えてみますと、何か遠い話のようなちょっと手の出しにくい奉仕活動のように思われます。しかしそれゆえに殆どの人にとってロータリー以外では関われない事業という事になります。本年度の地区国際奉仕委員会のスローガンは「国際奉仕を通じ、地域に存在感のあるロータリークラブへ」です。

我々の2790地区は日本の玄関口である成田空港を擁し、海と自然に囲まれ、東京に隣接した地域です。こうした地の利を生かし海外との夢の懸け橋をかけて頂くきっかけを作れるようサポートさせていただいているところです。

国際奉仕活動とはちょっと関係ないかもしれませんが、皆様の地元であります山武市がスリランカ国のオリンピック選手の事前キャンプ地として誘致を実現させたことはご存じだと思います。このことにより①地域の知名度が向上します②街並みや景観整備等インフラが整備されます③市民ボランティアなど市民の意識が高まります

④その国の文化・言語を学ぼうとします。数えればきりがありませんが、地域に多くの「変化をもたらす」ことは明白です。今回オリンピック誘致の中心となったのは、皆さんもご存じだとは思いますが、米山学友のサジー・ワニーさんです。この山武市の事例は、ロータリーの国際奉仕活動が回りまわって、実は地域貢献につながる「地域に変化をもたらす」事業である事を実証しました。まさにロータリーが縁の下の力持ちとなり地域に変化をもたらした事例だと思えます。サジーさんは奨学生を終えてからも米山学友になって、今まで自分が受けてきたロータリアンの優しい心、親切な言葉は片時も忘れることができない、その恩を返したいという一心でロータリアンの皆様方との交流を大切にし、日本とスリランカの懸け橋になって交流を続けていきたい…とおっしゃっていました。サジーさんは今でも地区内多くのクラブの方との交流を深めています。サジーさんのように米山奨学生・米山学友は母国のために何とかしたいと思っている人が多いです。このような米山奨学生・米山学友を起点として国際奉仕にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

また、姉妹クラブを通じて行う国際奉仕活動を私どもの茂原RCが姉妹クラブである台湾の屏東東RCと連携して行った国際奉仕活動の事例をいくつか紹介します。屏東県は台湾の最南端に位置します。先日3月4日から7日まで姉妹クラブ締結35周年の式典に出席してきましたが、連日30℃の暑さで体がおかしくなりそうでした。会員数は97人おり、とても大きなクラブでこの間の式典も出席人数は200名を超えるような盛大なものでした。

2013-14年度、茂原クラブ提唱によるグローバル補助金を活用した「僻地医療巡回専用車」寄贈プロジェクトを行いました。このプロジェクトは、台湾の山間部台湾の東側はほぼ山脈になっております。ここには、富士山より高い玉山 標高3,952M、雪山標高3,886Mなどの山々が連なりとても険しくなっているため、病院がなく医療過疎地と呼ばれていることを医者である姉妹クラブのメンバーから聞き、このプロジェクトを立ち上げました。RI2地区3ヶ国3RC共同の総額52,000\$の大変大きなプロジェクトになりました。寄贈式には、茂原からは会員家族と田中市長夫妻総勢29名で台湾へ訪問し、屏東キリスト教病院への寄贈を行いました。また翌年の2014-15年度には、姉妹クラブの屏東東クラブの姉妹クラブである韓国のRI3710地区光州中央クラブ提唱により、グローバル補助金活用の「屏東県政府へのAED」寄贈プロジェクトに参加しました。

今回は、台湾のRI3510地区屏東東クラブと韓国のRI3710地区光州中央クラブが中心となって、そこに韓国の晋州仙鶴クラブと茂原クラブが共同参画することになり、RI2地区3ヶ国4RC共同の総額40,500\$のまたまた大きなプロジェクトになりました。このプロジェクトは屏東県の公共施設へ14台のAEDを寄贈し、屏東県庁での寄贈式には、茂原から会員家族総勢19名で出席してきました。

この年は、屏東東RC創立35周年の年でもあり、また自分がクラブの幹事をしてきたこともあってとても印象に残っており、ロータリークラブの醍醐味を味わったいい思い出となっています。2016年、再び台湾を訪れて実際に活用されている状況を検証しに行きました。こうした具体的な参考事例を多くのクラブの方にご紹介しながら国際奉仕に躊躇されているクラブへのお力になればと考えております。

昨年度の国際奉仕委員会が実施したアンケート結果によると「補助金制度のハードル高い」「事業内容をクラブ内で企画検討できない」というクラブが全体の60%になりました。そうしたクラブには現地にまで足を運ばなくても、目や手の届く身近な地区補助金を活用した事例(社会奉仕プロジェクト)をご紹介します。

実際地区に多くのクラブの人が出向して頂いて情報交換をしてクラブに持ち帰るといった事が理想ですが、手短かに気軽に国際奉仕を始めるとなると実際に国際奉仕を行っているクラブから情報を仕入れて行うほうが実行に移しやすいのではないかと考えます。地区の国際奉仕委員会を担当させて頂きまして、当委員会から皆様へのご提案です。私ども委員会は、台湾なら台湾、スリランカならスリランカとその国に奉仕している、またこれから事業を取り組もうとしている興味のあるクラブや会員が地区内を横断し、定期的に情報交換ができる機会・手段を作ればと考えておりますがいかがでしょうか？

地区内で、携わっている国を同じくするクラブの担当者が一堂に会し、情報交換ができ、またその際には地区内のどなたでもご自由に参加できる会合を定期的開催できれば国際奉仕へチャレンジする壁も低くなるような気がします。地区を横断した国際奉仕の情報交換会はそうした利点もあると考えますがいかがでしょうか？

さて話は変わりますが、情報研修会の時もPRさせて頂きましたが、本年度の国際大会は今年の6月カナダトロントであります。3月31日まで事前登録割引が適用されます。まだまだ間に合います。国際大会を国際活動に一步踏み出すきっかけとして参加されることをお勧めします。国際大会に参加された方々からは①国際大会

に参加しなければ経験出来ない感動②国際ロータリークラブの大きな存在意義を感じることができると聞いております。地区内で150名の参加者を目標に周知してまいります。皆さんぜひお互い誘い合って登録されます様よろしくお祈りいたします。

最後になりますが、本日卓話させて頂いて感じたことですが、成田空港南クラブさんは会員同士がとても仲が良く信頼関係が築き上げられている立派なクラブだと実感しました。ぜひこれからも地域に存在感のあるロータリークラブとして、今後とも地区のお手本としてご指導ご鞭撻ください。私自身も自己研鑽を積み重ね、ロータリークラブの会員として地域社会に欠かせない存在として未来へ向け活動していきたいと思っております。また機会があれば卓話でなくメイクアップに参加させて頂きたいと考えております。

「万物の中で唯一永遠なのは変化だけ」という言葉がありますが、私共国際奉仕委員会も変化に適応し、皆様にお役に立てる委員会として頑張りたいと考えております。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本日ご出席の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ国際奉仕委員会の卓話とします。

本日はご清聴誠にありがとうございました。

ニコニコボックス

青柳誠君・富一美君・前川成吉君・内田裕雄君
行木英夫君・伊藤元雄君・倉石昌治君

…金坂様 卓話ありがとうございます

土屋俊夫君・古西弘和君・秋葉英昭君

…茂原中央 25周年記念ゴルフコンパ お疲れ様です

幹事ありがとうございました

内田裕雄君

…長寿ロータリアンとして表彰されました

小林定雄君

…先日はあづま庵をご利用いただきありがとうございました

本日計	14,000円
累計	573,004円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
3月22日	33	22	28	78.57

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

近況報告 奨学生 王堯玉さん

皆さんお久しぶりです。2月は中国に帰って西安に行きました。西安は王朝時代の長安です。映画の

「空海」を知っていますか。空海は昔、遣唐使として勉強しました。西安はたくさんの歴史的な遺跡がありまして、他のお土産はありませんが西安で買った葉書を持ってきました。この葉書の中でたくさんの西安の歴史が紹介されています。

よかったら皆さん一枚ずつ持って帰って下さい。

